

会務報告

I. 日本珪藻学会第 37 回大会

2016 年 5 月 14, 15 日, 第 37 回珪藻学会大会が, 神戸大学六甲台第二キャンパスの瀧川記念学術交流会館において開催された。参加者は 60 人 (一般 35 人, 学生 25 人) であった。12 件の口頭発表 (うち 1 件の基調講演) と 11 件のポスター発表があった。総会では, 功労賞, 最優秀発表賞の表彰も行われた。懇親会は, 46 名の方が参加され, 大いに盛り上がった。

II. 平成 28 年度運営委員会

平成 28 年 2 月, 持ち回り運営委員会 (#160204) が開催され, 日本珪藻学会最優秀発表賞の実施回数, 選考方法および表彰時期の変更について審議された。その結果, 「日本珪藻学会最優秀発表賞は大会と研究集会のそれぞれで最も多くの票を獲得した発表に授ける。その表彰は当該大会と研究集会の会期中に実施する」ことが決定した。また, 同月に持ち回り運営委員会 (#160215) が開催され, 大会または研究集会の発表資格について繰り返し審議が行われたが, 得票同数により採択案を決定できず, 5 月の運営委員会で採決することとした。平成 28 年度日本珪藻学会運営委員会が平成 28 年 5 月 14 日 (土) 11 時 30 分より神戸大学六甲台第二キャンパスの瀧川記念学術交流会館 1 階小会議室において開催された。出席者は, 南雲 保 (会長), 長田敬五 (運営委員・庶務幹事), 松岡孝典 (会員・会計幹事), 出井雅彦 (運営委員・編集委員長), 澤井祐紀 (運営委員), 鈴木秀和 (運営委員), 伯耆晶子 (運営委員), 真山茂樹 (運営委員) の 8 名であった。

【報告事項】

- 1) 会員状況
- 2) 編集委員会関係状況
- 3) 会計状況
- 4) 学会誌 Diatom vol. 31 の献本先 (従来どおり 12 件)
- 5) 大会および研究集会開催地
- 6) 日本分類学会連合参加報告
- 7) 日本珪藻学会 学会賞
- 8) その他

【審議事項】

- 1) 平成 27 年度決算
会計監査の田中宏之会員と小林秀明会員の監査を受けた決算が承認された。
- 2) 平成 28 年度予算
本年度の予算が承認された。
- 3) 大会または研究集会の発表資格について
審議の結果, 「大会の発表は会員に限る (発表申込時の入会会員を含む)。また, 研究集会の発表は, 共著者の何れかが会員であれば発表者の会員資格は問わない」の発表資格が運営委員会案として採択され, 総会での審議事項となった。

4) その他

日本珪藻学会最優秀発表賞に関する持ち回り運営委員会 (#160204) の決定事項が確認され, 加えて同賞の副賞の賞状は対象発表者のみに授与することが決定した。

今年の秋に会長・運営委員選挙を実施することが承認された。

III. 平成 28 年度総会

平成 28 年度総会が, 第 37 回大会会期中の 5 月 14 日 (土) に川井浩史大会会長を議長として大会会場 (神戸大学六甲台第二キャンパス瀧川記念学術交流会館) で開催された。

【報告事項】

- 1) 会員状況
普通会員 184 名 (一般会員 161 名, 学生会員 13 名, 奨学会員 4 名, 家族会員 2 名, 海外会員 4 名), 名誉会員 2 名, 団体会員 4 名, 賛助会員 3 名 (個人 1 名, 団体 2 名), 合計 193 名 (平成 28 年 4 月現在)。
- 2) 会計状況
平成 27 年度の決算が報告された。会計監査の田中宏之会員より当該決算が適正であることが報告された。
- 3) 編集委員会関係状況
編集委員長より Diatom 31 巻が発行されたこと, 掲載論文の J-Stage への公開されていること, および Diatom 32 巻の投稿状況ならびに編集業務における進捗状況が報告された。
- 4) 日本分類学会連合総会参加報告
日本分類学会連合第 16 回総会が, 平成 28 年 1 月 9 日 (土) に国立科学博物館上野本館講堂で開催され, 南雲 保 (会長) と松岡孝典 (幹事) が出席した。2017 年第 16 回公開シンポジウムの開催を 2017 年 1 月 7 日 (土) の午後予定されていること, ABS 問題対策 WG および国立自然史博物館新設 WG が発足するなどの検討事項の報告がなされた。
- 5) 日本珪藻学会学会賞の発表
昨年決定した平成 27 年度日本珪藻学会功労賞が後藤敏一会員に授与された。また, 当日欠席の豊田健介会員には後日授与することとなった。
平成 28 年度日本珪藻学会論文賞は, 再選考することが賛成多数で承諾された。
平成 27 年度日本珪藻学会最優秀発表賞が中村憲章会員に授与された。
平成 28 年度日本珪藻学会第 37 大会最優秀発表賞が加藤悠爾会員に授与された。
- 6) 今年度の研究集会および次年度大会について
学会会長より, 今年度の日本珪藻学会第 36 回研究集会はジョルダン会員 (山形大学) を世話人として 10 月 22 日 (土), 23 日 (日) にホテル樹林 (山形県山形市蔵王温泉) で開催されること, および次年度の日本珪藻学会 38 回大会は, 世話人として鈴木秀和会員 (東京海洋大学) お願いすることが報告された。

7) その他

ジョルダン会員より日本珪藻学会第36回研究集会の案内がなされた。

【審議事項】

1) 平成27年度決算

会計監査を受けた以下の決算が承認された。

平成27年度決算（平成27年1月1日～12月31日）

収入	支出		
前年度繰越金	3,683,100	印刷費(31巻)	469,979
会費	804,000	発送費	40,312
会誌売上代金	53,000	編集費	3,360
別刷代(30巻, 31巻)	65,140	庶務雑費	115,694
超過頁代(30巻, 31巻)	90,000	日本分類学会連合分担金	10,000
受取利息	107	J-stage登録委託費(25～27巻)*	0
雑収入	1,728	次年度繰越金	4,057,730
合計	4,697,075	合計	4,697,075

*2015年作業完了後支払い予定だったが、今年度の請求はなかった。

2) 平成28年度予算

以下の予算案が提案され、予算が承認された。

平成28年度予算（平成28年1月1日～12月31日）

収入	支出		
前年度繰越金	4,057,730	印刷費(32巻)	600,000
会費	1,000,000	発送費	100,000
会誌売上代金	80,000	編集費	30,000
別刷り・超過頁代	50,000	庶務雑費	110,000
受取利息	500	日本分類学会連合分担金	10,000
雑収入	2,000	J-stage登録委託費(25～27巻)	46,100
		次年度繰越金	4,294,130
合計	5,190,230	合計	5,190,230

3) 大会または研究集会の発表資格について

庶務幹事の長田敬五より審議理由が説明され、運営委員会での採択案「大会の発表は会員に限る（発表申込時の入会会員を含む）。また、研究集会における発表は、共著者の何れかが会員であれば発表者の会員資格は問わない」について審議された。その結果、承諾を得るに至らず、運営委員会で再検討することとなった。

4) その他

IV. 日本珪藻学会第36回研究集会

日本珪藻学会第36回研究集会は10月22日(土)・23日(日)に蔵王温泉(ホテル樹林)にて開催された。参加者人数は56人で、その内36人が学生(山大:12人, 学芸大:10人, 海洋大:10人, 名古屋大:2人, 宇都宮大:1人, 茨城大:1人)であった。口頭発表者は16件, ポスター発表者は12件であった。活発な議論が終始繰り広げられ、とても盛り上がった集会であった。

これらの発表の中から、平成28年度日本珪藻学会36

回研究集会最優秀発表賞が富小由紀会員に授与された。

V. 平成28年度編集委員会

平成28年5月14日(土)10時30分より、神戸大学六甲台第二キャンパス瀧川記念学術交流会館小会議室にて開催された。出席者は、南雲保(会長), 出井雅彦(編集委員長), 大塚泰介, 佐藤晋也, 澤井祐紀, 須藤斎の各委員であった。

1. 報告事項

1) Diatom 第31巻(報告)

・総ページ数76ページ。論文5編(原著4編, 研究ノート1編), 第36回大会・第35回研究集会のプログラムと要旨, 会務報告, 英文論文の和文摘要。

・論文の掲載は基本的に受理順とした。

・引き続き印刷を(株)国際文献印刷社に依頼した。

2) Diatom 掲載論文のウェブ上での公開について(報告)

・受理された論文から順にPDFをJ-Stageにアップしている。

・29巻掲載の全論文について、2015年12月末日よりフリーアクセスとした。また、即時公開権が購入された論文については、30巻, 31巻についてもフリーアクセスとしている。

3) 第32巻編集状況(報告:2016/5/10現在)

受理論文:なし

受付, 審査中:短報1件, 原著論文2件

リジェクト:2件

4) 編集委員会体制

編集委員長:出井雅彦(文教大学)

編集委員:阿部信一郎(茨城大学), 大塚泰介(滋賀県立琵琶湖博物館), 佐藤晋也(福井県立大学), 澤井祐紀(産業総合研究所), 須藤斎(名古屋大学)

副編集委員長を依頼することも可能であるが、今のところ委員長と編集委員5人体制で行っている。ホームページの管理を豊田氏にお骨折り頂いていたが、今後当面の間、渡辺剛氏がその役を引き継いでくれることになった。

5) 申し送り事項

第34回大会のミニシンポジウムと関連した「珪藻の細胞学」について特集についてであるが、現在のところ全く進展していない。

2. 審議事項

1) 投稿規定の一部に見直しについて

著者情報, Corresponding authorを追加する。

理由:一般に筆頭著者が編集集中のやりとりの相手となるが、必ずしもそうとは限らないので、その相手をはっきりさせるため。

審議の結果、追加することを決定した。

2) 投稿論文のファイル形式について

Word形式(docx or doc)とする。図は, JPEG

とし、圧縮し5MGを上限とする。表については、Excelも可とする。

3) 査読チェックリストについて

チェックリストの記入を査読者をお願いしていたが、あまり意味がないので、今後はこのチェックリストの記入をお願いしないことにする。

4) その他

査読の際にWord原稿に直接コメントを書き込むと、履歴として査読者の情報が残っていることがあるので、著者に戻す際には査読者の個人情報が残っていないか注意する必要がある。

VI. 平成28年度日本珪藻学会論文賞

平成28年度日本珪藻学会論文賞は、論文 Morphological variability of *Cyclostephanos ramosus* sp. nov. from Pleistocene sediments of the Paleo-Kathmandu Lake, Nepal. Diatom 31: 1-11. 2015 を発表した林辰弥会員と谷村好洋会員に決定した。両会員には、次回の大会において平成28年度日本珪藻学会論文賞が授与される予定である。

VII. 平成29・30年度役員

任期満了に伴い、次期会長および運営委員選挙（平成28年10月1日告示、同年10月20日投票締め切り）が実施された。平成28年10月28日、日本歯科大学生物化学教室において田中次郎会員と数野渚会員を立会人と

して開票され、会長および運営委員8名が選出された。役員の任期は平成29年1月1日から平成30年12月31日。

会長：南雲保（次点者：出井雅彦，真山茂樹）

運営委員（50音順）：大塚泰介，後藤敏一，佐藤晋也，澤井祐紀，鈴木秀和，須藤斎，辻彰洋，真山茂樹（次点者：斎藤めぐみ，豊田健介，柳沢幸夫）

幹事：長田敬五（庶務），鈴木秀和（会員），松岡孝典（会計）

編集委員長：出井雅彦

編集委員（50音順）：阿部信一郎，大塚泰介，佐藤晋也，澤井祐紀，須藤斎

会計監査：平成29年度運営委員会において選任し、委嘱する。

VIII. 平成29年度大会および研究集会開催予定

日本珪藻学会第38回大会 注）総会時の発表内容とは異なる。

開催日：2017年5月27（土）・28（日）

大森海苔のふるさと館

<http://norinoyakata.web.fc2.com/>

世話人：鈴木秀和，滝本彩佳

日本珪藻学会第37回研究集会（詳細未定）

開催日予定日：平成28年10月予定

場所：（詳細未定）

世話人：（詳細未定）